



2019年11月7日

各位

会社名 株式会社バンダイナムコホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 田口三昭
 (コード番号 7832 東証第一部)
 問合せ先 取締役 経営企画本部長 浅古有寿
 (TEL: 03-6634-8800)

(訂正・数値データ訂正) 「2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2019年8月8日に開示いたしました「2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容について、一部誤りがありましたので、以下の通り訂正いたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

1. 訂正理由

2020年3月期の期首より一部の在外連結子会社において適用しているIFRS第16号「リース」の処理に一部誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正箇所

訂正箇所には下線_を付して表示しております。

【サマリー情報】

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(2) 連結財政状態

(訂正前)

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	<u>563,146</u>	416,827	73.9
2019年3月期	612,955	429,644	70.0

(訂正後)

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	<u>562,840</u>	416,827	73.9
2019年3月期	612,955	429,644	70.0

【添付資料】 3 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 財政状態に関する説明

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ49,808百万円減少し563,146百万円となりました。これは主に配当金の支払い等により現金及び預金が42,502百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ36,992百万円減少し146,319百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が14,128百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12,816百万円減少し416,827百万円となりました。これは主に配当金の支払い等により利益剰余金が9,623百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.0%から73.9%となりました。

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ50,114百万円減少し562,840百万円となりました。これは主に配当金の支払い等により現金及び預金が42,502百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ37,298百万円減少し146,013百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が14,128百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12,816百万円減少し416,827百万円となりました。これは主に配当金の支払い等により利益剰余金が9,623百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.0%から73.9%となりました。

【添付資料】 4 ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	213,851	171,349
受取手形及び売掛金	93,083	72,525
商品及び製品	19,062	21,849
仕掛品	42,428	47,995
原材料及び貯蔵品	3,580	4,163
その他	26,836	25,763
貸倒引当金	△890	△867
流動資産合計	397,951	342,779
固定資産		
有形固定資産	87,593	<u>92,623</u>
無形固定資産	11,845	12,121
投資その他の資産		
投資有価証券	74,023	72,791
その他	41,907	43,196
貸倒引当金	△366	△364
投資その他の資産合計	115,564	115,622
固定資産合計	215,003	<u>220,367</u>
資産合計	612,955	<u>563,146</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,804	60,676
引当金	3,505	1,693
その他	85,583	61,650
流動負債合計	163,893	124,020
固定負債		
退職給付に係る負債	10,383	10,576
その他	9,034	11,722
固定負債合計	19,417	22,299
負債合計	183,311	146,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	52,308	52,308
利益剰余金	369,315	359,692
自己株式	△2,298	△2,300
株主資本合計	429,326	419,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,190	19,407
繰延ヘッジ損益	5	△373
土地再評価差額金	△5,920	△5,920
為替換算調整勘定	△8,864	△11,034
退職給付に係る調整累計額	△5,705	△5,663
その他の包括利益累計額合計	△294	△3,584
非支配株主持分	612	711
純資産合計	429,644	416,827
負債純資産合計	612,955	563,146

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	213,851	171,349
受取手形及び売掛金	93,083	72,525
商品及び製品	19,062	21,849
仕掛品	42,428	47,995
原材料及び貯蔵品	3,580	4,163
その他	26,836	25,763
貸倒引当金	△890	△867
流動資産合計	397,951	342,779
固定資産		
有形固定資産	87,593	<u>92,317</u>
無形固定資産	11,845	12,121
投資その他の資産		
投資有価証券	74,023	72,791
その他	41,907	43,196
貸倒引当金	△366	△364
投資その他の資産合計	115,564	115,622
固定資産合計	215,003	<u>220,061</u>
資産合計	612,955	<u>562,840</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,804	60,676
引当金	3,505	1,693
その他	85,583	61,650
流動負債合計	163,893	124,020
固定負債		
退職給付に係る負債	10,383	10,576
その他	9,034	11,416
固定負債合計	19,417	21,992
負債合計	183,311	146,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	52,308	52,308
利益剰余金	369,315	359,692
自己株式	△2,298	△2,300
株主資本合計	429,326	419,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,190	19,407
繰延ヘッジ損益	5	△373
土地再評価差額金	△5,920	△5,920
為替換算調整勘定	△8,864	△11,034
退職給付に係る調整累計額	△5,705	△5,663
その他の包括利益累計額合計	△294	△3,584
非支配株主持分	612	711
純資産合計	429,644	416,827
負債純資産合計	612,955	562,840

【添付資料】 8 ページ

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(訂正前)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

IFRS第16号はリースの借手に、原則としてすべてのリースについて原資産を使用する権利である使用权資産とリース料の支払義務であるリース負債をそれぞれ認識すること等を要求しており、適用にあたっては、遡及修正による累積的影響額を適用開始日時点で認識する方法に従っております。

この結果、当期首残高は資産が3,815百万円、負債が3,803百万円、利益剰余金が12百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(訂正後)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

IFRS第16号はリースの借手に、原則としてすべてのリースについて原資産を使用する権利である使用权資産とリース料の支払義務であるリース負債をそれぞれ認識すること等を要求しており、適用にあたっては、遡及修正による累積的影響額を適用開始日時点で認識する方法に従っております。

この結果、当期首残高は資産が3,509百万円、負債が3,497百万円、利益剰余金が12百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

以 上